

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社ニチゾウテック 上場取引所 大  
 コード番号 4654 URL <http://www.nichizotech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菱川 道生 (TEL) 06 (6555) 7050  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 北川 正一 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,115	△12.7	△83	—	△56	—	△95	—
23年3月期第1四半期	2,422	31.8	16	—	26	—	△26	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △97百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	△14	45	—	—
23年3月期第1四半期	△4	05	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,495	5,381	56.7
23年3月期	10,174	5,577	54.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,381百万円 23年3月期 5,577百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	0	00	15	00
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	0	00	15	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	5,100	6.1	110	148.4	110	93.9	60	—	9	09
通期	12,800	12.5	700	35.3	690	29.3	390	58.5	59	11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) ー、除外 1社 (社名) 株式会社ニツテク有明

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	6,600,000株	23年3月期	6,600,000株
24年3月期1Q	2,650株	23年3月期	2,650株
24年3月期1Q	6,597,350株	23年3月期1Q	6,598,083株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想は、発表日現在において入手可能な情報をもとにした仮定を前提としていますので、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による甚大な被害が企業の生産活動に大きな影響を及ぼし、一部に復興に向けた回復の兆しが見られるものの、電力供給の制約や原材料価格の高騰、円高の急激な進行など、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは営業活動に注力してまいりましたが、関係する業界の国内設備投資が依然として低い水準で推移したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,115百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常損失は56百万円（前年同四半期は経常利益26百万円）、四半期純損失は95百万円（前年同四半期は四半期純損失26百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

検査・計測・診断事業におきましては、造船会社・建設会社・化学会社などから、鋼構造物、各種プラントの配管、機器等の非破壊検査業務を受注・施工するとともに、関西電力株式会社、建設コンサルタント会社及びエンジニアリング各社などから水門・水圧鉄管・橋梁などの鋼構造物及び各種プラントの配管・機器などの計測・診断業務並びに耐震解析をはじめとした各種解析業務を受注・施工しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は300百万円（前年同四半期比21.1%減）となりました。

エンジニアリング事業におきましては、各生産会社・工場向けに、機械・設備の製作・据付・改造工事、電気・計装工事及び各種プラント・環境工事を受注・施工しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,235百万円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

メンテナンス事業におきましては、日立造船株式会社・ユニバーサル造船株式会社の各工場・事業所内諸設備の補修・整備工事及び運転・保守管理並びに官公庁設備の運転・保守管理等を実施するとともに、民間企業及び官公庁向けに環境設備の定期点検・補修、各種プラント等の点検・整備を実施しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は578百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比較し679百万円減少して、9,495百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比較し483百万円減少して、4,113百万円となりました。これは主に未払費用の減少等によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比較し195百万円減少して、5,381百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少等によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において、当社の特定子会社であった株式会社ニツテク有明は、平成23年4月1日付で当社に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,493	1,324
受取手形及び売掛金	4,564	3,893
預け金	1,020	1,010
仕掛品	377	566
その他	249	231
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,704	7,025
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,043	1,043
その他(純額)	609	608
有形固定資産合計	1,653	1,652
無形固定資産		
投資その他の資産	28	31
その他	804	802
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	787	786
固定資産合計	2,469	2,470
資産合計	10,174	9,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,509	1,705
未払費用	1,302	740
未払法人税等	119	40
完成工事補償引当金	25	27
工事損失引当金	11	7
その他	200	209
流動負債合計	3,168	2,729
固定負債		
退職給付引当金	1,248	1,219
役員退職慰労引当金	103	86
その他	76	78
固定負債合計	1,428	1,383
負債合計	4,596	4,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,242	1,242
資本剰余金	878	878
利益剰余金	3,455	3,261
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,574	5,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	1
その他の包括利益累計額合計	3	1
純資産合計	5,577	5,381
負債純資産合計	10,174	9,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,422	2,115
売上原価	2,205	2,001
売上総利益	217	113
販売費及び一般管理費	201	196
営業利益又は営業損失(△)	16	△83
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	2
負ののれん償却額	0	—
保険戻戻金	1	23
その他	4	0
営業外収益合計	11	27
営業外費用		
固定資産除却損	0	0
租税公課	1	—
寄付金	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	26	△56
特別損失		
投資有価証券評価損	25	—
特別損失合計	25	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	0	△56
法人税等	27	39
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	△95
四半期純損失(△)	△26	△95

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	△95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△1
その他の包括利益合計	△6	△1
四半期包括利益	△32	△97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32	△97
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	検査・計測・ 診断事業	エンジニアリ ング事業	メンテナンス 事業	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	381	1,491	550	2,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	381	1,491	550	2,422
セグメント利益又は損失(△)	△42	58	0	16

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	検査・計測・ 診断事業	エンジニアリ ング事業	メンテナンス 事業	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	300	1,235	578	2,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	300	1,235	578	2,115
セグメント損失(△)	△22	△51	△9	△83

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。